

社会福祉法人 石川整肢学園

小松療育園 環境行動計画

平成 23 年 6 月 22 日

環境への取組方針

社会福祉法人石川整肢学園 小松療育園は、「至誠の心」「信頼の心」「ノーマライゼーションの心」を基本理念として、重度の知的障害と重度の肢体不自由が重複している障害児（者）を対象に治療、訓練、生活指導を行う社会福祉施設として、また外来の患者さんの診療も行う病院としての機能も併せもち、障害の早期発見、早期治療で「総合的な療育」を行っています。

当施設の事業活動を進めていく中で、環境保全に取り組むことも地域社会への貢献と考え、住みよい社会と豊かな自然を将来世代に伝えることを目指します。

環境行動指針

私たちは、当施設の事業活動が環境に及ぼす影響を最小限にとどめるために、以下の行動に取り組めます。

- 省エネルギーにより、地球温暖化防止に努めます。
- 事業活動における廃棄物の削減をします。
- 資源の有効な利用を図ります。

この方針に基づいて職員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全職員に周知します。

平成 23 年 6 月 22 日
社会福祉法人 石川整肢学園
小松療育園
理事長 駒井 一晴

■環境負荷低減の取組

当施設では、環境負荷を低減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は次の通りです。

目標-1	二酸化炭素の排出量を、22年度を基準として24年度までに2%削減する。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> □職員のいないスタッフルームや、利用者のいない居室、共有スペースの電気や冷暖房、テレビの電源を切る。 □冷暖房の使用時は必ず窓やドアを閉め、効率を上げる。 □共有スペースや休憩中の職員食堂を消灯する。（晴天時のみ） □施設内の蛍光灯のLED化を推進する。 □パソコンは、長時間使用する見込みのない場合は電源を切る。 □トイレの暖房便座のふたを必ず閉める。 □アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける。 □車の室温温度を適正温度に設定する。

目標-2	廃棄物の適正な管理とリサイクルの推進に努める。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> □ごみの分別を徹底し、リサイクル、リユースに努める。 □再使用、リサイクルしやすい製品を優先的に購入、使用する。 □製品をできるだけ、長期間使用する。 □一般廃棄物については、今後データを把握するように努める。

目標-3	水の使用量を、22年度を基準として24年度までに2%削減する。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> □水道配管の更新工事を行ない、漏水の防止に努める。 □手洗い場に節水を呼びかけるポスター等を掲示する。

目標-4	紙の使用量を、22年度を基準として24年度までに2%削減する。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> □両面コピーと裏紙利用を徹底する。 □電子情報機器の利用により、ペーパーレス化を進める。

■環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、事務長を委員長とする環境推進委員会を設け、全職員が「具体的な取組」を実行します。